

《郷土博物館で市民コレクション展》 「刀百姿－彩褪せぬ日本刀の燦－」

野田市郷土博物館では、令和4年4月9日（土）から市民コレクション展「刀百姿（かたなひやくし）－彩褪（いろあ）せぬ日本刀の燦（さん）－」を開催する。野田市美術刀剣会との共催により、会員秘蔵の刀剣約60振、および刀装具を展示する。5月29日（日）まで。入場無料。

市民コレクション展として4度目の開催となる刀剣コレクション展だが、今回も特別重要刀剣を含む古今東西の自慢の名刀が目白押しとなる。古刀から新々刀まで、少しずつ異なる特徴や当時の流行を見比べ、一口に「日本刀」と言っても様々に種類があることを楽しみながら学んでいただきたい。

また同じく展示される、^{つば}鐔、^{こづか}小柄、^{めぬき}目貫など、刀装具にも注目してもらいたい。これらの小道具にも彫金師、象嵌師等の卓越した技術者がおり、一見目立たないところに施された繊細な工芸を見ることができる。まさしく愛刀を彩ってきた「粋」である。ごく狭い範囲に表現された風流や縁起物など、小さな世界に施された芸術は注目ポイントである。

加えて野田市関宿出身の鈴木貫太郎（終戦時の内閣総理大臣）の家宝といわれる愛刀、およびタカ夫人の守り刀（いずれも野田市所蔵）を特別公開する。刀を通し、郷土の偉人にも興味を抱いていただければ幸いだ。

今回の展覧会タイトルは、月にも例えられる日本刀を、浮世絵師月岡芳年の著名作「月百姿シリーズ」にあやかり、「刀百姿」とした。いつの時代も、あらゆる角度から異なる姿で楽しませてくれる日本刀の美しさは、人々を魅了してきた。歴史の時世の中で少しずつ姿を、意味を変えながら、現代もなお我々を惹きつける。その刀が「生まれて」から数百年の間、色々な人の手を歩き、大切に愛でられ、今日ここに偶然集った一振りに、長い歴史のロマンを感じてもらいたい。

期間中は展示に合わせてさまざまな日本刀の関連イベントを開催予定。興味に合わせてぜひご参加いただきたい（いずれも要予約）。

- ①刀剣会会員に刀にまつわる気軽な質問や相談を聞ける「刀剣なんでも相談会！」
（4月24日、5月15日）
- ②実際の日本刀を扱いながら作法や持ち方を学べる「日本刀を持ってみよう！」
（5月1日、22日）
- ③日本刀の基礎知識を刀剣会会員から学べる講座「刀剣基礎講座」（5月7日）

問合せ＝野田市郷土博物館（野田市野田 370-8）・電話 04-7124-6851

野 田 市